



令和4年度 三陸ジオパーク推進協議会総会

去る4月25日(月)に浄土ヶ浜パークホテル(宮古市)にて令和4年度の総会を開催し、すべての議事が承認されました。

また総会に先立ち、達増岩手県知事と沿岸市町村長との懇談会を行い、来年度の再認定を目指し三陸ジオパークの推進に向けた意見交換をしました。



開会にあたり 挨拶をする達増知事

《気仙沼市 東日本大震災遺構・伝承館を見学》

南北に長いエリアの三陸ジオパークですが、震災を伝える活動がそれぞれの地域で続けられています。当時の被災状況を現地のガイドから直接聞けば、どのように津波が入ってきたか、どこまで浸水したか、どこにどのように避難したか、まさにそれは地形に関係しているということが良く分かります。



震災伝承館の建物と、被災校舎がつながっています。

各市町村の海岸線と震源地との位置関係によって、それが違うということも理解できます。例えばリアス海岸では入り組んだ地形によって押し寄せる波が複雑に回り込み、さらに後からくる津波とぶつかり合いました。そのシュミレーションも展示されているのが、気仙沼市にある東日本大震災遺構・伝承館です。 <https://www.kesenuma-memorial.jp/>



受付のあるロビーに陸前高田の波伝承館で開催していた企画展示品がありました。

湾口からまっすぐに続く川があれば、それに沿って奥まで遡上していくのですが、少しそれるだけで、あるいはちょっとした高低差で、被災を免れたという事例も多く聞きます。そういうことも実はジオ=大地の話なのですね。過去に起きた津波災害も含めて、後世に伝えていきたいことがそれぞれにあると思いますが、先人たちはそれを石碑に刻んで残してきたのでしょうか。自分たちの住む地域の歴史をたどることもジオにつながります。

各地の復興まちづくりでは、その地域での経験や過去の教訓を基に地域住民がさまざまな意見を出し合って計画が進められました。

震災を知らない世代と言われる子供たちが成長し、そして彼らが見聞きし感じたこと伝えたいことを語る「語り部活動」が伝承館でも紹介されていて、とても感銘を受けてきました。

《大谷海岸のパラマ写真》

三陸沿岸道路に「大谷海岸IC」がありますが、降りて気仙沼市内方面すぐの国道沿いに広がる景色です。震災前から、駅から見える一番近い海水浴場として賑わっていましたが、地域住民の「砂浜を残したい」という思いが交渉の末に認められ、当初の防潮堤計画を大きく動かした場所でもあります。

⇒ <https://www.nacsj.or.jp/2021/03/24749/>

日本自然保護協会【東日本大震災から10年】シンボルの砂浜を守った地域活動からの学び(宮城県・大谷海岸)より



三陸ジオパーク・現地推進員が記者となってお伝えするコーナー

毎回いろいろな情報を掲載いたしますので、どうぞお楽しみに！



今回の記者：里館 徹(いわて復興応援隊/宮古地域振興センター配置)

浄土ヶ浜クリーン作戦

4月23日(土)サイトである浄土ヶ浜において「浄土ヶ浜クリーン作戦」(主催：浄土ヶ浜をきれいにする会)がおこなわれました。当日は薄曇りで少し肌寒い日でしたが、約200名の方が集まりました。浄土ヶ浜は以前から観光地として全国的にも有名で宮古を代表する所です。ジオパーク活動として、持続可能な開発(自然資源を守りながら、社会を発展させる)、教育(地域の貴重な自然・文化を学び、地球と人間のつながりを知る)、保全(地域の地形地質・自然・文化遺跡を守る)のうち今回の「クリーン作戦」は「保全」に当たります。5班に分けそれぞれ担当エリアからゴミ拾いを開始。一見きれいに見える浄土ヶ浜ですが結構な量のゴミが収集されました。

清掃活動の後、ジオパークガイドによるミニトレッキング体験会がありました。上級、中級、初級のコースの中から、私は中級(=レストハウス前から蛸の浜、浄土ヶ浜大橋を抜けるコース)を選びました。ガイドさんのお話はとても楽しかったです。



ジオサイトの浄土ヶ浜



たくさんのゴミが集まりました



第3駐車場の脇



ミニトレッキング体験会

圧巻の「安家洞」

日本で一番長い鍾乳洞と言われている安家洞に行ってきました。安家洞は三陸ジオパークのサイトとしても登録されていますが、総延長が日本最長の23.7kmもあります。さらに未だに調査のなされていない箇所もあるそうです。

今から数億年前、海底の珊瑚礁が厚い水性石灰岩層となり、太平洋プレートの北上で日本列島の一部、三陸安家石灰岩層を形成しました。

その三陸安家石灰岩層が隆起し、その後雨水の浸食によって「安家洞」が生まれました。

洞内は天井からは無数の鍾乳石が垂れ下がっていて、地面からは石筍(せきじゅん)、石柱、色々な形に発達したものなど数多くあります。その色々な形は面白い名前がついていることが多くそれだけでも楽しめますよ。

観光洞エリアは500メートルですが、さらに奥まで行くコースがあります。(要予約)是非トライしてみてください。



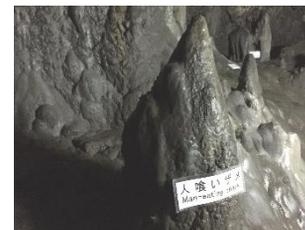
入口です。
ヘルメットを被ってGO!



神秘的な光景が広がります



タイトル：会議室



タイトル：人喰いザメ

編集後記

Facebookとツイッターを担当していると、季節感満載の投稿記事を目にしますが、桜前線が過ぎ去ったあとのこの季節には菜の花やツツジの満開の写真が数多く見られるようになりました。三陸ジオパークのエリアにも植生にまつわる自然サイトが各地にあります。青森県の階上岳のツツジと気仙沼市の徳仙丈山のツツジも見ごろを迎えていますね!五葉山のツツジもあります。皆さんの地域のツツジの名所もどうぞ教えてください。写真の提供も大歓迎です。他情報も是非、右記のアドレスまで! ~と~

三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町1-20

宮古地区合同庁舎2階

TEL:0193-64-1230

FAX:0193-64-1234

info@sanriku-geo.com

https://sanriku-geo.com/

* Facebookはこちら

